

長与町文化財調査報告第2集

前田川内洞穴調査略報



1974

長与町教育委員会

I はじめに

前田川内洞穴は長崎県西彼杵郡長与町岡郷にあり、東隣の多良見とを分ける琴尾岳（451m）の山麓近く、巨大なる火山角礫岩（集塊岩）の根方に開口している。昭和44年、町内堂崎遺跡発掘調査に際しての分布調査当時、堵博に利用された「ぬすと岩」なる洞穴を探したが判明せず、その後、所在が判明して昭和46年予備調査（試掘）を、同47年及び同48年に、予測される開発事業に先行して第Ⅰ次及び第Ⅱ次発掘が計10日間、長与町教育委員会によって実施され、筆者が担当して実施した。

本洞穴は、その大半が未だ大量の土砂によって充墳閉塞され、調査の余地を多く残す。今次略報は、表採資料にすら接し得なかった本遺跡について、遺跡の存否と時期判断の資料を得られた現時点においてその概要を報じ、縄文早期における西九州の研究に一資料を提示するとともに、東九州において進捗している一連の押型文化の研究成果との対比資料としたいところである。

今次略報の趣旨は、前段の緊急調査の要素と後段の意図にもとづいたものである。

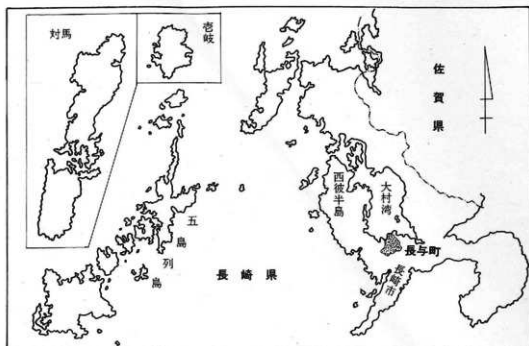
調査参加者

松尾五郎・野中經次・佐藤靖彦・左近充正明・中島 衛（以上、長与町教育委員会）、喜々津哲男（千葉大学学生）、築木節子（長与町在住）、正林 護（県文化課、調査担当）。また町当局の方々および土地所有者桜木集安氏。地元有志の方には諸般のご協力をいただいた。記して感謝申上げる。



洞穴開口部

II 前田川内洞穴の立地



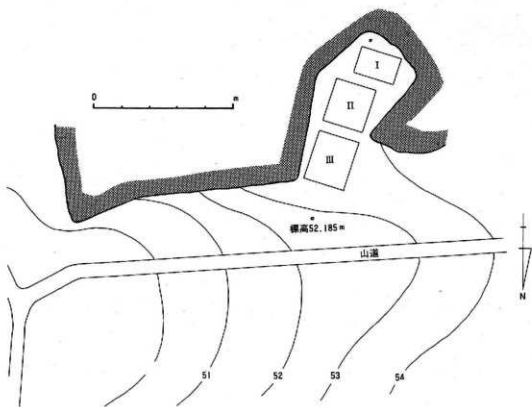
長与町位置図

本洞穴の立地する長与町の東半は基本的には安山岩の基盤にのり、長与川以西とは対象的であり一部^上矢上層に属し、一部砂岩層の露出を見る。前述の火山角礫岩は第三紀層を被覆し、遺跡の立地する脆弱な岩塊下部の風化洞が往時の居住に利用されたものであるが、現地は、巨大な岩塊が圍繞し、水利や、風雨をささぎる好条件にかかわらず、限局された時期の利用に終わったのは、脆弱なこの火山礫岩の風化や崩壊と無関係とは考え難い。

洞内開口部は、西半端に限られわずか0.6m×2m程度が開口する。洞内はわずかに中腰の姿勢が可能であり、袋状の平面型を呈する。現地標高50m程度の山林である。

III 土 層

遺物包含は、近世磁器等を含むI層と、III層押型文土器包含層に限られる。現地付近の傾斜にもかかわらず洞内及び前庭部の土層は平坦であり、現雨落線よりわずか外側より僅かに下降する。押型文土器等を包含するのは洞内表土より深度0.5mあたりからはじまり、角礫を含む黄褐色粘質土（第III層）で炭化物の混入が見られる。この層の遺物包含レベルに至って天井までの高さは2mに達し起居自由となる。以下基盤となりその間遺物包含をみない。



洞穴周辺の地形

IV 遺物

I層遺物は、町内に近世磁器の窯跡（長与窯）があり、その断片等に加えて現代の器物を含む。第III層より検出の遺物は土器14点石器4点である。土器片は中粒の楕円押型を施す肉厚のもの、大粒楕円押型文土器、無文土器片であり、山型押型文等の組成関係は現時点では未確認である。施文原体規模は中粒のものは測定可能であるが他は細片で計測困難である。

石器は、黒曜石製不定形撥器1、安山岩製凹石及び剥片若干である。凹石の供伴例は^{注3}稲荷山等東九州の同期遺跡や本県南高来郡吾妻町弘法原遺跡において見られるものと共通する。

V む す び

前田川内洞穴は県内にあっては、佐世保市及び北松浦郡の洞穴遺跡を除いて確認できた最初の洞穴遺跡といえる。特に洞穴に関心をよせる理由は、平地において良好な包含状態をもつ遺跡に乏しいこと、またこれらの理由で、押型文に限らず本県の場合平地遺跡での表採資料はあり得ても、発掘資料と異り資料価値において問題がある。というきわめて初歩的理由からでも

あった。

従って、本洞穴の調査が稀有の資料となり得るという主張は当たらないとしても貴重な基礎資料たり得る、と考えられる。

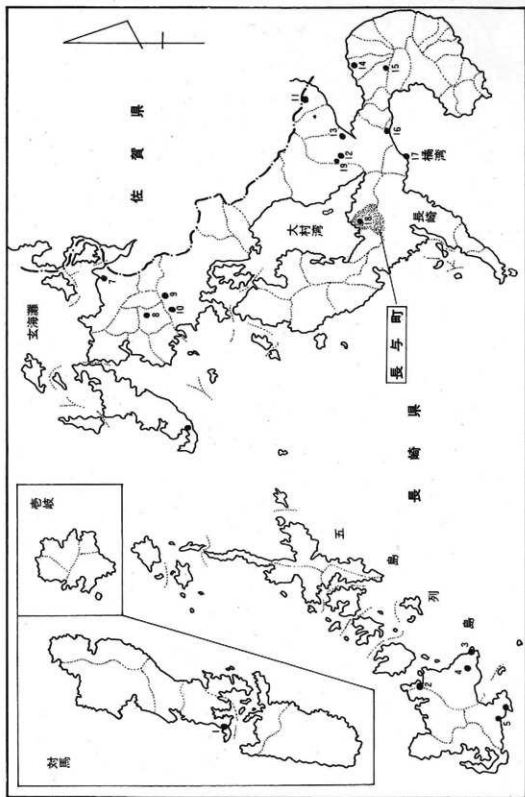
前田川内の調査は十分進捗しておらず、土器等も十分その組成を見せてはいないが、東九州等で進められている一連の縄文早期の資料に比定可能である。速断のきらいはあるが早水台式B類の系譜下において比定可能と考えられるものである。また図版に示した大粒楕円押捺文土器片は稲荷山遺跡で指摘された土器片利用の円盤を想起させるものがある。

註1. 堂崎遺跡：長与町文化財調査報告第1集 1971 長与町教育委員会

註2. 大分県文化財調査報告書第2集 1971 大分県教育委員会

長崎県内押型文土器出土地一覧

	遺 跡 名	所 在 地	備 考
1	加 藤 遺 跡	下県郡豊玉村西加藤	坂田邦洋氏の調査による
2	茶 園 遺 跡	南松浦郡岐宿町茶園	長崎県教委(昭47)
3	白 浜 遺 跡	福江市崎山字白浜海岸	史前学雑誌10-1
4	皆 塚 B 遺 跡	福江市崎山町皆塚	松崎久磨治資料
5		南松浦郡富江町黒瀬黒崎	史前学雑誌6-2
6		平戸市志々伎町	平戸学術報告
7		松浦市調川町山田免湯の谷	松浦考古3
8	福 井 洞 穴	北松浦郡吉井町福井	考古学集刊3-1
9	岩 下 洞 穴	佐世保市松瀬町	岩下洞穴(麻生)
10	下 本 山 洞 穴	佐世保市下本山町迎野	下本山遺跡：麻生
11	山 茶 花 洞 穴	北高来郡小長井町山茶花池	長崎県教委分布調査(昭45)
12	小 豆 崎 洞 穴	諫早市長田町星名小豆崎	史前学雑誌6-2
13	川 頭 洞 穴	諫早市湯ノ尾町川頭	長崎県教委分布調査(昭45)
14	柿ノ本洞穴	南高来郡瑞穂町柿ノ本	長崎県教委分布調査(昭45)
15	弘法原洞穴	南高来郡善妻町弘法原	長崎県教委分布調査(昭45)
16	有 喜 貝 塚	諫早市大里町六本松	史前学雑誌6-2
17		北高来郡銀盛町琵琶島	人類学雑誌58-10
18	前田川内洞穴	西彼杵郡長与町両郷丸尾	前田川内洞穴調査報告：正林
19	太 子 堂 遺 跡	諫早市湯ノ尾町小字菅納	古賀力氏の報による

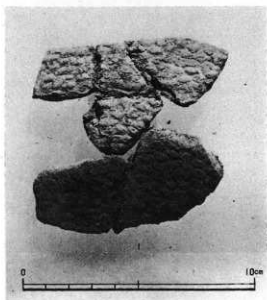


長崎県内押型文土器の出土地

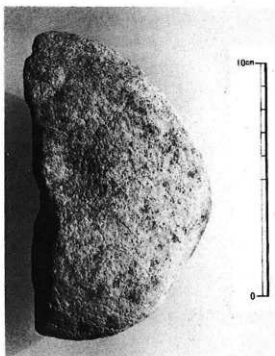
層位・土器出土状況

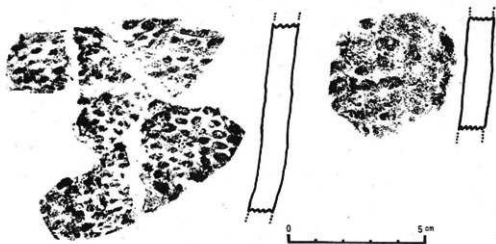


遺物(土器)

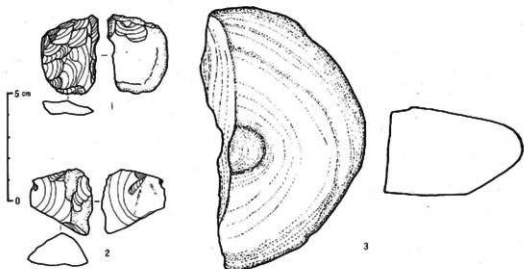


遺物（剥片・凹石）





第三層土器実測図



第三層石器実測図

長与町文化財調査報告 第2集

前田川内洞穴調査略報

昭和49年3月1日

発行 長与町教育委員会
長崎県西彼杵郡長与町鎌里

印刷 榑昭和堂印刷
長崎県諫早市東部厚生町622-4
電話 代表 2-6000